

エ | ネ | が | お 8

～エネルギーをつなぐ現場の素顔～



感謝の気持ちを忘れない
それが、多くの方と関わり、
支えられている

自分の仕事の一番大切なことです

電力ネットワークカンパニー
岐阜支社 大垣営業所 契約サービス課
小林悦子

撮影場所 / 大垣市内を流れる水門川にて

▲大垣営業所のある大垣市は、別名「水都」と呼ばれ、豊かな水の恵みを受けて、発展を遂げました。

大垣営業所 契約サービス課で、「低圧契約」業務を担当しています。
「低圧契約」業務では、お客さまの代理となる電気工事店さまから、電気工事の申し込みを受け付け、工事の日程調整やお客さまの電気ご使用の契約までの行程管理に携わっています。
電気のご契約については、まずお客さまが、「最大で、どの程度の電力を使用するか」によって、契約容量が決まります。契約容量によって、基本料金が決定されるため、電気工事店さまを通じて、正しく確認し、判断することが大切になります。その後、配電部門が電気を供給するために必要な工事を設計し、契約を締結。さらに、電気工事店さまが工事を行い、竣工後は、配電部門で検査した上で、電気ご使用の契約が完了します。
こうした工程が、遅滞や間違いがなくスムーズに進行できるよう行程管理していくことが、一番大切な業務です。

産休・育休をはさみ
2018年の4月から
今の職場に復帰しました。
家庭では3歳の娘を持つ
ママとしても
日々奮闘しています

今は、朝の9時から夕方4時までの「育児フレックス」を活用しながら、仕事と育児の両方の面で効率化を目指しています。

電力ネットワークカンパニー 岐阜支社 大垣営業所のエネがお

name 小林悦子 department 電力ネットワークカンパニー 岐阜支社 大垣営業所 契約サービス課 entering company 2008年(入社11年目)

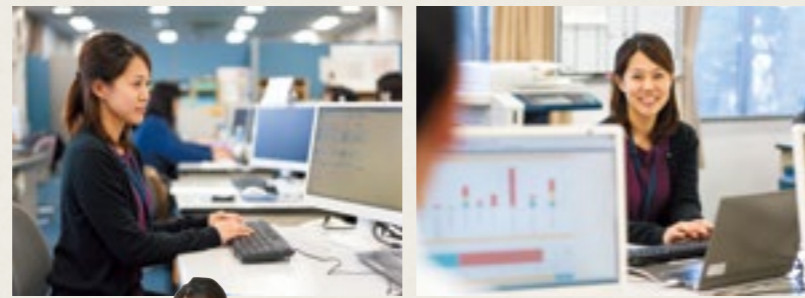
work 生まれも育ちも岐阜県大垣市。就職活動でいろんな企業を見る中で、中部電力は、学生の自分の眼に、社会のために役立つ仕事をしている地元企業だと強く印象に残りました。それと同時に、結婚して出産した後も働きやすい会社であることを知ったことが、中部電力に入社した理由でした。

01

自分にとっての「あたりまえ」は、
「あたりまえ」じゃない

契約業務は、お客さまの代理である電気工事店さまや取引先さまとの対応が主となります。この仕事で、私が大切にしているのは、自分が「あたりまえ」だと思っていることが、先方にとっては「あたりまえ」じゃないと考えて、お話することです。

日常の業務で、「あたりまえ」じゃないと意識して対応することで、電気工事店さまから「ありがとう」と言われると、とても励みになります。また、そういう機会が、自分の仕事を見つめ直すきっかけにもなっています。



自分自身も大垣出身のため電気工事店さまのお話の中ではついつい方言も出てしまいます(笑) その「方言」で電気工事店さまに親しみを感じていただくと嬉しいですよ



▲水門川のほとりに建つ住吉燈台。天保11年(1840年)に建てられた

03

職場復帰で強く実感した
周囲の気遣いと優しさ

仕事は、他部門や外部の方など、いろんな方と関わり進めていくもので、自分一人では完結できません。

子供を産み、職場復帰した今、特にその思いが強く、周囲の仲間には、いつも助けられています。

だからこそ、感謝の気持ちを持つことは、忘れないようにしたいと思っています。



▲大垣営業所 契約サービス課の仲間たちと一緒に。

MY TOOLS

PHS

電気工事店さまとのやり取りは、インターネットでの申込みなどに変わるなどシステム化が進んでいますが、それでも直接話をする機会はまだまだ少なくないため、電話は欠かせないツールです。



お客さまサービスシステム(CIS)

電気工事店さまから、電気工事の申し込みを受領したお客さま情報を管理するためのシステムが、CIS(Customer Information System)。近年の導入によって、効率化が実現できました。



02

電気をお届けするために
お客さまの一番近くでできること

所属する契約サービス課の業務は、発電や送電・配電といった技術的な部門ではありませんが、電気を安全にお客さまにお届けし、安心してお使いいただくという使命は同じです。

お客さまが一番近いところにいる私たちだからこそ、新しく電気をお送りするお客さまのご希望に、できるだけ沿えるよう取り組みたいと思っています。それを実現するのが、自分の役割だと思います。



契約サービス課の仲間はみな親しみやすい人柄でとてもアットホームな雰囲気。いつも支えていただいています



▲住吉燈台そばの水門川に架かる住吉橋

のぞき見リフレッシュ



3歳の娘の成長を感じる日々です

プライベートは、今は子供のことばかりですね。平日は保育園に預けているので、お迎えに行ったときに、その日の出来事を楽しそうに自分で話せるようになった姿を見ると嬉しいです。

先日、娘がミカンを食べていて、「ママと半分こね」と分けてくれたのは、優くなったなと成長を感じて嬉しかったです。